

# CRYPTO HARBOR

SINCE 2018

WHITE PAPER



## 目次

---

---

### 1章 プロジェクト

- 1-1. CryptoHarbor Exchangeプロジェクト から CryptoHarborプロジェクトへ
- 1-2. ミッション
- 1-3. 行動指針
- 1-4. コミュニティと、その拡大・保全について

### 2章 取引所

- 2-1. 取引所について

### 3章 コインについて

- 3-1. 一般的な取引所トークンの評価について
- 3-2. ERC223について
- 3-3. CHE (CryptoHarbor Exchange) トークンスペック

### 4章 上場

- 4-1. 上場について

### 5章 プロジェクト体制

- 5-1. 運営体制について
- 5-2. 法人設立について

### 6章 ロードマップ

- 6-1. 現在までの進捗
- 6-2. ロードマップ



## 1章 プロジェクト

### 1-1 CryptoHarbor Exchangeプロジェクト から CryptoHarborプロジェクトへ

私たちが目指すものはコミュニティの港です。コミュニティを活性化し、そのコミュニティ参加者(皆さんもその1人です)から生まれるプロダクトを発信する場を作りたいという思いが第一です。コミュニティに集まる人たちがそこで思い思いに話題を作り、プロダクトを作ったり、サービスを作れる場を提供する経済特区の港(プラットフォーム)を想定しています。

つまり「CryptoHarbor」という独自のエコシステム(コミュニティ生態系)を創るということです。「CryptoHarbor」とは私たちが発行するCHEトークンが経済活動の共通通貨となる経済特区です。

CryptoHarbor Exchange(取引所自体)は、CryptoHarborというエコシステムの中の一つの機能であり軸となるものです。

CryptoHarbor Exchange(以下CHE)トークンはいわゆる「取引所トークン」ですが、今までのWPでは取引所トークンとしてしかスポットライトが当たっておらず、私たちのプロジェクトも取引所を作るのみが目立つと指摘されました。

しかし、私たちは取引所を作成することだけを目指しているのではなく、CHEを基軸通貨としたコミュニティづくりと、そこで新しい価値観・文化が創造・発信されていくことを目指しています。

まずはCryptoHarborプロジェクトの全体像をわかりやすくお伝えし、その詳細については区切りながらご案内できればと思い、WPをアップデートいたしました。

### 1-2 ミッション

私たちのミッションは「CryptoHarbor」という独自のエコシステム(コミュニティ生態系)を作り上げることです。

そのために下記ロードマップに従いプロジェクトを進めてまいります。

プロジェクト全体のロードマップは0~3のフェーズに大分類されます。

## ミッション達成のための全体構想のロードマップ

Phase 0 Harbor 港としてのコミュニティの場を作成

Phase 1 Exchange 取引所設立

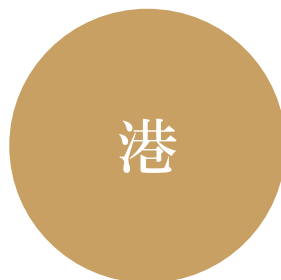
Phase 2 Labo ブロックチェーンスクールやラボ設立

Phase 3 Ecosystem 港のコミュニティから多様なプロジェクトが発生

(※フェーズ名は仮決定)

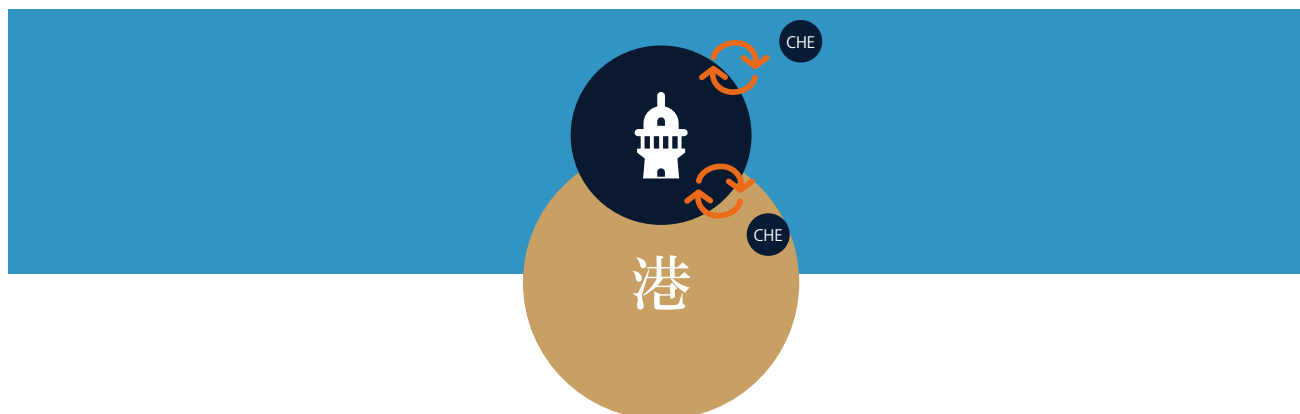
### 0 港としてのコミュニティの場を作成するフェーズ

現在のDiscord上ではランク制度導入などβ版的取り組みをはじめ、さまざまな企画を起こしています。今後はコミュニティの活性化と自由度を拡げるために、Discordから掲示板形式に移行する企画があります。



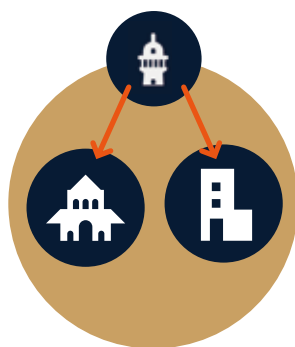
### 1 取引所作成へ向けてのフェーズ

現在、国内で取引所を作ることそのものでも、法的にかなりハードルが高いものとなっており、それは十分承知しております。そして技術的にも多くの超えなければいけないハードルがあります。まだ立ち上げたばかりの私たちだけでは決して十分とは言い難い状況であるのは事実です。しかし、港にあつまるコミュニティ参加者の力をはじめとして、スペシャリストのスカウトや人材選定、思い思いのこんな取引所が欲しいという声をもとに、みんなで実現へ一歩一歩向かって行けることを望んでいます。



## 2 ブロックチェーンスクールやラボ設立のフェーズ

つぎに、私たちは暗号通貨、ブロックチェーンの勉強ができる場を設立いたします。コミュニティ参加者の多くの人が学び合う場をつくることで、CHEを含めた、これから注目される暗号通貨を利用したプロジェクトが始動しやすい環境づくりを目指します。



## 3 港のコミュニティから多くのプロジェクトが発生する生態系へのフェーズ

港に仮想通貨取引所と仮想通貨学校ができれば、そこから私たちの本当のスタートです。コミュニティによって自然発生的に生まれるプロジェクトは、アメーバのように様々な主体性を持ち、大きくなったり小さくなったり、分裂したり融合したりしながら活動していけることを目指します。例えば EC サイトを作る人もいるでしょうし、サードパーティ製のウォレットを作る人もいるでしょう、バーチャルアイドルを作って投げ銭サービスを立ち上げる人もいるでしょう。CHEはその場所で共通通貨として存在し、またクリプトハーバーがベンチャーキャピタルの役目を担い、投資やバックアップすることで拡大するコミュニティの港を目指します。また、人材が豊富になるこのフェーズで DEX 化していくことを想定しています。

私たちは以上のようなコミュニティ生態系の場としてクリプトハーバーが存在し、そして CHE トークンがその経済活動の共通通貨となっていけることを目指します。コミュニティにはどなたでもご参加可能です。盛り上げ役の方、アイデアを出す方、スキルを提供できる方。閲覧して楽しんでいただくだけでも歓迎いたします。

### 1-3 行動指針

私たちは港町のコミュニティの一員として、下記の指針に基づき行動し、プロジェクトの推進、達成を目指します。

#### 1 常に変わっていける姿勢をもつ

全ては良くはない。しかし、多くの場合や多くの人にとって良いものになるようチャレンジしていく、創造する。

#### 2 気持ちよくクリーンに行動する

各国の法令遵守。  
エシカル(倫理的)な行動をとる。

#### 3 多様性を認め、強みを活かす

敬意と感謝を持ってお互いを認め合う(人間関係のプラットフォーム)。  
1人1人の強みを適材適所で活かしていく。

### 1-4 コミュニティと、その拡大・保全について

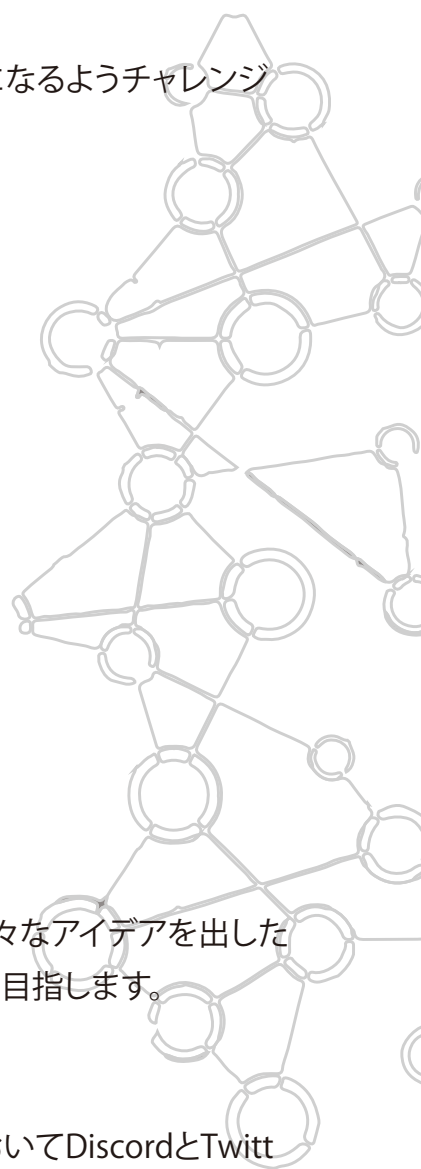
#### ■私たちが目指すコミュニティ

CryptoHarborプロジェクトの行動指針と、最低限のルールを土台として、様々なアイデアを出したり、それぞれの能力を活かせる場であるための自由で寛容なコミュニティを目指します。

#### ■コミュニティ運営について

コミュニティは「ミッション達成のための全体構想のロードマップー0」においてDiscordとTwitterから始まりました。

※将来的にはCryptoHarbor独自のコミュニティの場を設立し、拠点を移すことも企画中。



## ■HELPER役職

機能と役割によってパトロール係と企画係に分けられます。メンバーによりどちらに重き置くかの割合は違いますが、どちらの役割も担っています。

### ・パトロール係

コミュニティのルールに違反しているような場合は注意・警告を行い、最低限の秩序を守り、皆さんがコミュニティ内で安心して参加・発言できるように動きます。また、質問に対して過去のアナウンスの内容をお伝えしたり、チャンネルの誘導などを行います。

### ・企画係

コミュニティで行うイベント(トークン配布イベント)の企画や、その他コミュニティの維持・拡大において必要なルール作りなどを会議しながら行っています。

※HELPER役職はプロジェクト運営のコミュニティ担当と相互にコミュニケーションをとっていますが、その活動はコミュニティ内の運営にとどまり、その責任はプロジェクト運営のコミュニティ担当にあります。つまりHELPER役職のパトロールによる注意・警告以外の発言等はプロジェクト運営としての発言ではなく、コミュニティ参加者としての個人の発言となります。

## ■コミュニティ報酬

コミュニティ報酬とは、

- ・コミュニティを盛り上げるための企画で一定の条件を満たした参加者への報酬
- ・イベント企画で賞を獲得した参加者への報酬
- ・その他

取引所設立までは毎月総額1億トークン配布を予定しています。

取引所設立後は、その月に投票で利用されたCHETトークンの半分をコミュニティ報酬として支払います。

### 【コミュニティ内イベントとは】

コミュニティ運営メンバーの選考による受賞者にはCHETトークン配布を行います。これらもコミュニティに色々な形で参加出来る仕組みで人を増やし、活気づけていく取り組みです。

過去実施したもの

- 4コマ漫画を描こう!
- 川柳を綴ろう!
- 宝くじで一攫千金!?
- あなたの企画採用いたします!

これから実施予定のもの(案)

- わっしょい祭り
- おもしろキャッチコピーコンテスト参加者
- みんなで広げようCHE 港町の輪
- Tシャツデザインコンテスト
- その他



#### ■クローズドチャンネル

コミュニティ内には以下のクローズドチャンネルを設置いたします。

クリプトハーバーの方針に賛同し、積極的に参加していただいている方や、支援してくれる方が発言しやすい環境を整えることを目的としています。

##### •VIPチャンネル

ランキングイベント廃止により、条件については準備中。今後コミュニティ内で貢献度の高い方(一定条件を満たす方)のみ入場する権利を持ちます。

※2018年4月のレベリングのみ、ブラック以上が入場可能としています。

##### •DVIPチャンネル

0.1BTC以上の寄付をして頂いた方のみ入場する権利を持ちます。

また、完成プロダクトの寄付者一覧にお名前を掲示させていただく予定です。



### ■CHE公式プロモーションキャラクター

ワールドワイドにCHEを広めるため、キャラクターを制作いたします。主にコミュニティ内で愛されるようなキャラづくりを進めています。

また、公式キャラクターとは別に、各国の文化に合わせたカントリーキャラクターの制作を考えています。

### ■今後のコミュニティ運営方針

これまで、コミュニティをコミュニティの力で作るということを重視し、HELPER役職も有志の方のみで構成してまいりました。運営のつくりあげるコミュニティではなく、行動指針とルールのもと、「コミュニティでコミュニティを作る」ということを重要視していたため、プロジェクト運営(Discord ADMINとして)の参加は1名という体制をとっていました。

しかし、運営の実態がわからず不透明だという意見もあり、プロジェクト運営メンバー(ADMIN)に加え、開発メンバー(DEV)も今後数日に1回はコミュニティに参加し、直接コミュニティ参加者と開発についてもやりとりができるような体制を作ります。また開発関連のチャンネルも増設していきます。



## 2章 取引所設立

### 2-1 取引所について

#### ■コンセプト

コミュニティと共に発展していく  
—みんなで作るコミュニティ取引所

私たちはまず通常の取引所を立ち上げ、コミュニティと共に取引所の活性化を目指します。

#### ■みんなで作るコミュニティ取引所

「みんなで作るコミュニティ取引所」の一貫として投票の仕組みを採用し、決定事項を運営中心ではなく、コミュニティと共に決めていきます。

投票のみでなく、様々な方法で取引所開発プロジェクトへの参画を可能にしていきます。

投票で決定されるのは

- ・上場銘柄
- ・基軸コイン追加
- ・その他

#### ■取引所設立時の基軸通貨

- ・ビットコイン Bitcoin (BTC)
- ・イーサリアム Ethereum (ETH)
- ・リップル Ripple (XRP)
- ・ビットコインキャッシュ Bitcoin Cash (BCH)

以上4通貨を予定しております。

#### ■取引手数料

全通貨取引時の手数料にCHEが選択可能。

CHEを手数料に選択した場合半額といたします。



## ■アイデア次第で変化していける取引所

例えば以下のような要望があれば、それらを取り込んでいくことで、コミュニティ独自の唯一無二な取引所へと仕上がっていきます。

- ・取引所APIの公開やユーザーインターフェーススキンの変更をサードパーティ製で可能にする。
- ・取引所内の通貨のモバイルウォレット決済

(※一定以上の取引量がある通貨に限るなどの条件あり)

## ■CHEが目指す取引所

私たちが掲げる「みんなで作るコミュニティ取引所」は、他の取引所と比較してコミュニティ主導型という大きなアドバンテージがあると考え、当面の目標として世界で40位以内を目指します。

	KuCoin	Cryptopia	CRYPTO HARBOR EXCHANGE	COINEXCHANGE.io	TradeSatoshi
取引量順位	22位	38位	<b>40位以内</b>	53位	63位
シェア	0.47%	0.11%	<b>0.1%</b>	0.03%	0.01%
取引量 / 日	7,757BTC	1,899BTC	<b>1,500BTC</b>	446BTC	157BTC
取り扱いコイン数	139種	569種	<b>*毎週2種類追加</b>	506種	301種
取引所トークン	あり	なし	<b>あり</b>	なし	なし
購入単位			<b>1sat~</b>		
特徴	KCSトークン 2017/9 取引開始	取り扱いコイン数 2014年 取引開始	<b>CHEトークンによる</b> ①手数料0.05% ② vote (1CHE=1票) ③コミュニティ報酬 *活動により報酬付与	取り扱いコイン数	2015年 取引開始 手数料0.3%と高額

参考 <https://www.coinhills.com/market/exchange/> (4/23地点)  
\*CRYPTO HARBORについては現地点での目標値

## ■取引所開発の進捗

開発は、取引所が稼働可能になるまでの工程の70%が完了している状態です。

フロントエンドデザインと、各ウォレットとのコネクタ、セキュリティ対策等の開発が必要です。

## ■取引所開発の今後

- ・CHE上場後、エンジニア確保と取引所作成を進める
- ・UI/UX デモ動画公開 意見交換
- ・β版完成
- ・正式版完成・始動

※最低100BTCあれば取引所開設可能(積荷タイムの約30%)

(4章 上場、必要BTC参照)

## 3章 コインについて

### 3-1 取引所トークンについて

#### ■取引所トークンの優位性

先行エアドロップ申込者1500人に仮想通貨取引所に関するアンケートを実施したところ、約85%の仮想通貨トレーダーは「取引所トークンを発行している取引所」を利用していることがわかりました。

#### ■一般的な取引所トークンの特徴 (CHEトークンの特徴ではありません)

- ・取引手数料が半額
- ・取引所トークンを保有しているといろいろなコインがもらえる
- ・新規コインの上場投票に使える
- ・POS機能がついていて、持っているだけでコインが増える  
など様々なものがあります。

総取引量の多い取引所が発行するトークンに関しては、非常に価値が高くなっているものもあり、価値が崩れにくい性質があります。

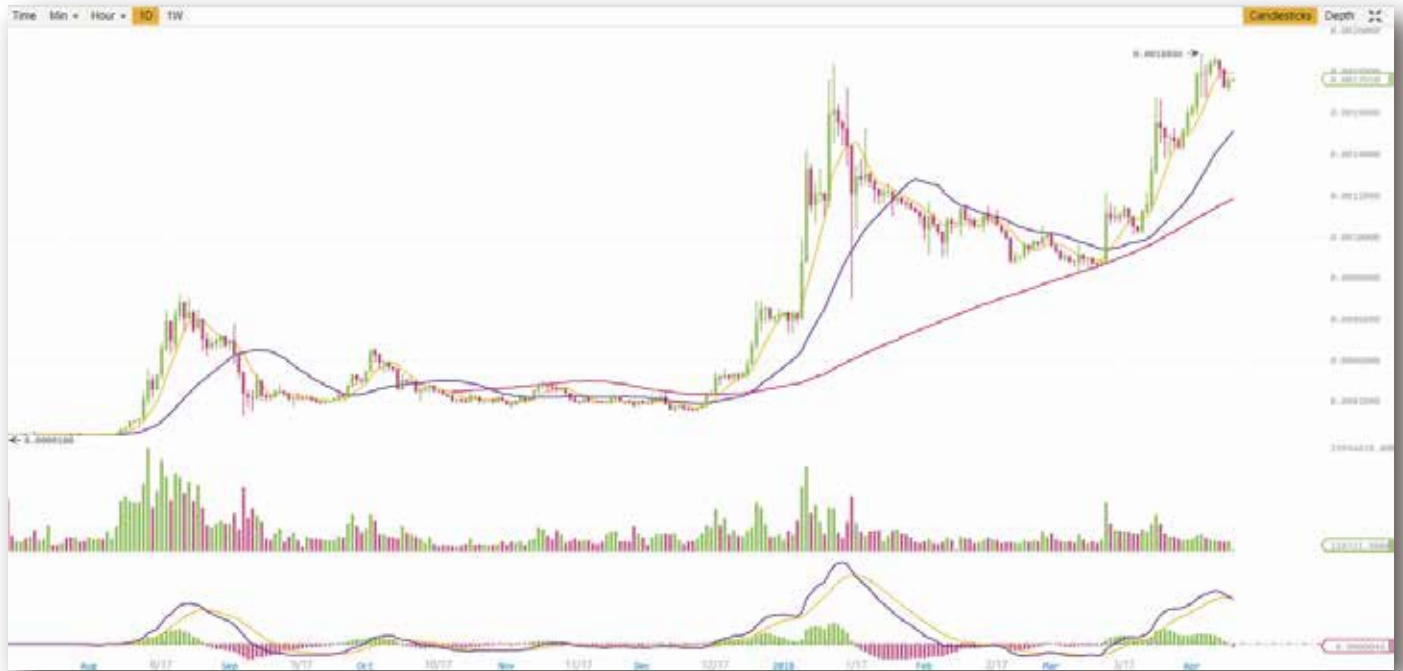
価値が崩れにくい理由は、取引所内にて、購入・利用（投票や取引手数料の値引き等）・売却の実需サイクルができることにあります。

例えば、自分の好きなコインを取引所へ上場させたいと思ったとき、そのコインへの投票が取引所トークンのみでの受け付けであれば、そのトークンを購入する動機にもなります。

暗号通貨の交換に必要な取引手数料がその取引所トークンを利用すると半額になるのであれば、そこでも需要は生まれます。そして、売却もその取引所内で出来てしまうのです。



(参考: Binance Coin Charts)



■「取引所トークン」のある取引所

- |          |         |          |         |               |
|----------|---------|----------|---------|---------------|
| •BINANCE | •KuCoin | •QUOINEX | •Bibox  | •Huobi.pro    |
| •COSS.io | •EXMO   | •Zaif    | •CoinEx | •CryptoBridge |

## 3-2 ERC223について

CHEトークンはERC223準拠のEthereumトークンです。

ERC223は、現在Ethereumトークンとして広く普及しているERC20の欠点を補った規格となります。ERC20はトランザクション処理が定義されておらず、誤ってコントラクトアドレスにトークンを送信しても承認されてしまう問題があり、これまでに何億円分ものトークンが闇に消えてきました。

ERC223は、コントラクトアドレスに送金された場合、元のアドレスに送り返される処理が追加されたことで、より安全・安心に使うことができます。

ERC223はERC20と互換性があり、これまでERC20で使ってきたウォレット、その他多くのサービスをそのまま使うことができます。

また、現在開発中のPlasmaやRaidenNetworkなど、Ethereumの送金遅延を解決するフレームワークにより、今後の価値向上が期待できます。

ERC223を採用したCHEトークンには他にも多くの利点があります。

### 【同時配布機能】

手数料を抑えながら効率良くエアドロップが実施可能です。

### 【ロックアップ機能】

この機能を有効活用し、CHEの価値を高めることができます。

### 【アドレス凍結機能】

秩序ある市場が維持可能です。

なおCHEは発行量を増やすミント機能は初めから無効にすることを明言しています。

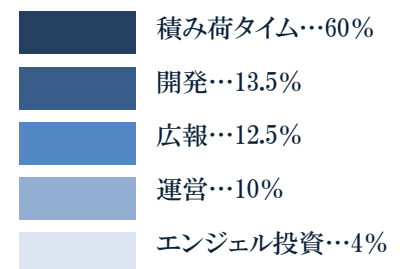
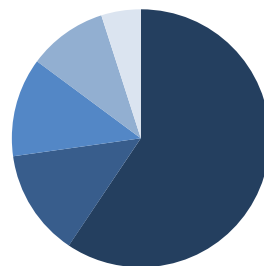
### 3-3 CHE (CryptoHarbor Exchange) トークンスペック

名称: CHE (CryptoHarbor Exchange)

仕様: ERC223

枚数: 500億枚

割当: 積み荷タイム	60%	300億枚
開発	13.5%	67.5億枚
広報	12.5%	62.5億枚
運営	10%	50億枚
エンジェル投資	4%	20億枚



保管: マイイーサウォレットにて管理可能

機能: 投票時アカウント凍結・ロックアップ・エアドロップ (MINT機能は廃止しており、トークンの増加はありません)

利用: 取引手数料半額

・新コインリスト投票

(1 CHE= 1 票。投票で利用されたトークンの半分は以後6ヶ月ロックアップ予定)

・アフィリエイト報酬

・コミュニティ報酬

\* 初期割当のロックアップについて

運営売り抜け等による相場への影響を最大限抑制する、またDEXの開発・研究所の創設及び運営費用にあてる目的のため、通常取引所開設までの期間、下記割合をロックアップいたします。

開発50% 33.75億枚

広報50% 31.25億枚

運営50% 25億枚

ロックアップ計 90億枚

(約90BTC相当)

また、ロックアップウォレットアドレスは公開いたします。

## 4章 上場

### 4-1 上場について

■積み荷タイム=海外の取引所に上場し、ビットコイン最小単位である1satoshiで売り板に並べます。

CHEトークンは1satoshi上場方式を採用し、市場に300億枚のトークンを流します。ICOではなく、その方式を採用した理由はコミュニティの皆さんにできるだけ安価にCHEトークンを手にしていただき、みんな一緒にその成長を見守り、そして盛り上げていただきたいと考えているからです。

私たちは1satoshiで売り板にトークンを並べることを積み荷タイムと称し、それが全て捌けること、すなわち皆さんの船に積み荷が完了することで、CHEは未来に向けて出航いたします。

#### ※ご注意

運営が1satoshiに指値で投入したとしても、取引所の仕組み上、オークション方式で先に高い金額のものが約定してしまいます。例えば、運営が1satoshiに500枚投入し、その時買いの指値が2satoshiに300枚あった場合は、2satoshiで300枚約定後、残りの200枚が1satoshiで約定します。





## ■目標BTC

目標BTCである300BTCになったところで残った枚数はロックアップし、コミュニティファンド、ラボ、スクール設立、コミュニティ活性化のために徐々に活用いたします。ロックアップ解除の際はその都度公式にてアナウンスをしていきます。

## ■必要BTC内訳

- ・取引所システム開発 30BTC～
- ・取引所運営・保守 20BTC～
- ・運営費 20BTC～
- ・最低100BTCあれば取引所開設可能(積荷タイムの約30%)

## ■必要BTCに満たなかった場合

掲示板 サーバー・製作費：2 BTC～30BTC(仕様による)

集まったBTCにより仕様は変わりますが、コミュニティ掲示板の製作をまず行います。取引所開発フォーラムなどを設けるなど、掲示板はクリプトハーバーを盛り上げるための場となります。また、フォーラム内にてブロックチェーンビジネス展開などを企画します。投票システム、投げ銭機能を設置し、掲示板上で活発にCHEを利用できる構成にします。



## 5章 プロジェクト体制

### 5-1 運営体制について

#### 【運営体制・協力者内訳】

・現体制

代表:1名

広報・営業担当:2名(5/5~1名)

マーケティング:1名

コミュニティ運営:1名

開発プロジェクトマネージャー:1名

コイン開発:1名

法務担当(顧問契約弁護士):1名

・資金調達後確保できる開発担当(現在確保が決定している人員)

元某取引所に所属のエンジニア:3名

セキュリティエンジニア:1名

UI/UXデザイナー:1名

ウェブ管理:1名

ウェブ制作:3名

翻訳:2名

### 5-2 法人設立について

下記2つの法人の設立に向け準備中です。

#### 1.日本法人

・2018.05.21 CryptoHarborプロジェクトチームが株式会社Craxyを設立しました。

日本法人でコミュニティ掲示板の運営を行います。

※取引所設立後は法規に従い、運営国を選定

#### 2.海外法人

現在アフリカにて設立準備中。

各国の法規制に準拠します。

※法規制等により変更の可能性があります。各国の法規制に準拠した取引所を作ります。

## 6章 ロードマップ

### CryptoHarborプロジェクト現在までの進捗

CryptoHarbor Project全体のプロジェクト進捗は下記の通りです。(2018/5/12現在)





港町の人が溢れる酒場のように、旬な情報が集まり、会話が飛び交い、新陳代謝の活発な場所。

そこから新しいアイデアが生まれ、ビジネスが始まり、世界に発信されていきます。

私たちは、取引所システムをDEXへと移行することを目標としており、将来的には独自チェーンによる暗号通貨取引所へ繋げていく構想を持っています。

ここでは、チェーン上のプラットフォームにより、自由な取引を可能にし、人、物、場所にとらわれない、自由な空間を提供します。

エンターテインメントかもしれないし、クラウドファンディングかもしれない。VRショッピングかもしれない。それは、思考をそのままプラットフォームでつなぐことができる空間です。

ー今より「もっと」 アイデアを「無限大に」

私たちの港、クリプトハーバーを中心にブロックチェーン技術ベースの新たなカルチャーを創造していきます。

最後に

私たちの進む航路には、多くの困難が立ちはだかる時や、嵐が来て立ち止まらなければいけない時があるかもしれません。それでも、諦めずに、ブレずに、航路を変更してでもその障害を1つ1つ乗り越え、参加してくれた皆さまに活発に活用してもらえるコミュニティ「クリプトハーバー」を目指して参ります。

